

このたびの令和7年11月大分市佐賀関の大規模火災により、被災された方々に謹んでお見舞い申し上げます。

## 冬本番！火の用心 🔥 乾燥と火の使用増加に最大限の警戒を！

この時期は暖房機器などの火を使用する機会が増え、また空気が乾燥し、火災が起きやすく、燃え広がる速度も速くなり、初期消火では対応しきれなくなります。



気象庁は、「12月、1月、2月の3か月予報で、東日本の太平洋側、西日本、沖縄・奄美は降水量が平年より少なくなる見通し」と発表しました。

太平洋側は平年でも乾燥しやすい季節ですが、**今回の予報ではさらに雨が少ない傾向**と予測されています。特に少雨が予想されている地域では、火気の取り扱いに最大限の注意が必要です。

**冬季は、暖房器具の使用増加と空気の乾燥により火災が多発**します。「火災を防ぎ、大切な命を守る」ため、右の点検項目を必ず実行しましょう。

施設責任者・防火管理者向け

### 冬の火災原因トップ3と対策

| 火災原因 | 具体的な危険性                               | 今すぐに行える対策                                           |
|------|---------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| 暖房器具 | 近くに燃えやすいもの（紙、段ボール、カーテンなど）がある。         | 暖房機器から1m以上離して可燃物を置く。                                |
| コンロ  | 休憩室・給湯室での火の不始末。<br>火をつけたまま、その場を離れる。   | 調理中は絶対にその場を離れない。<br>使用後はガス栓・電源を必ず確認する習慣をつける。        |
| たばこ  | 喫煙所や作業場での吸い殻の不始末。<br>完全に消火せずに可燃ごみへ廃棄。 | 指定場所以外での喫煙は厳禁とする。<br>灰皿に水を張るなど、完全に消火してから捨てることを徹底する。 |

### その他 火災予防のポイント



| チェックポイント       | 今すぐに行える対策                                                                           | 火の用心 |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 5Sの徹底と避難経路の確保  | 倉庫や執務室内の可燃物（書類、在庫）を適切に管理し、特に通路、階段、出入り口などの避難経路には、いかなる物も置かないことを徹底する。                  |      |
| 電気設備・OA機器の徹底管理 | ・サーバーやOA機器の電源ケーブルに発熱や破損がないか点検する。<br>・プラグにホコリが溜まっていないか、タコ足配線になっていないか、電力容量を超えていないか確認。 |      |
| 防火管理体制と教育の実施   | ・火元責任者を選任し、避難経路の確保を徹底<br>・全従業員が初期消火・避難手順を理解するため、消火・避難訓練を定期的実施する。                    |      |

**火災は従業員の方々の安全を脅かし、企業の事業継続を困難にします。皆様の連携と日々のチェックで、火災を防ぎ、大切な従業員と事業を守りましょう。**